

# 2020年3月期 第2四半期決算説明会



**スズキ株式会社**  
2019.11.5

## 第2四半期実績

## … 減収減益

		当第2四半期 ( '19/4-9 )	前第2四半期 ( '18/4-9 )	増	減	補足
					増減率	
連結業績 ( 億円 )	売上高	17,554	19,294	▲1,740	▲9.0%	3期 (2016年9月期) 振り減収
	営業利益 ( 利益率 )	1,186 (6.8%)	1,985 (10.3%)	▲799	▲40.2%	8期 (2011年9月期) 振り減益
	経常利益 ( 利益率 )	1,395 (7.9%)	2,323 (12.0%)	▲928	▲40.0%	8期 (2011年9月期) 振り減益
	当期純利益* ( 利益率 )	793 (4.5%)	1,362 (7.1%)	▲569	▲41.8%	10期 (2009年9月期) 振り減益
<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高減少 … 日本での検査体制再構築による減産、インドでの四輪車の販売減等</li> <li>・営業利益減益 … 日本、インドでの売上高減少や為替影響、諸経費等増加</li> <li>・経常利益減益 … 営業利益減益に加え、インドでの受取利息減少等</li> </ul>						
世界販売 ( 千台 )	四輪車	1,408	1,700	▲292	▲17.2%	インド、日本、インドネシア等で減少
	二輪車	876	858	+18	+2.1%	インド、フィリピン等で増加
配当	一株当たり 中間配当金	37円	37円	±0円		期初予想通り

※ 当期純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益

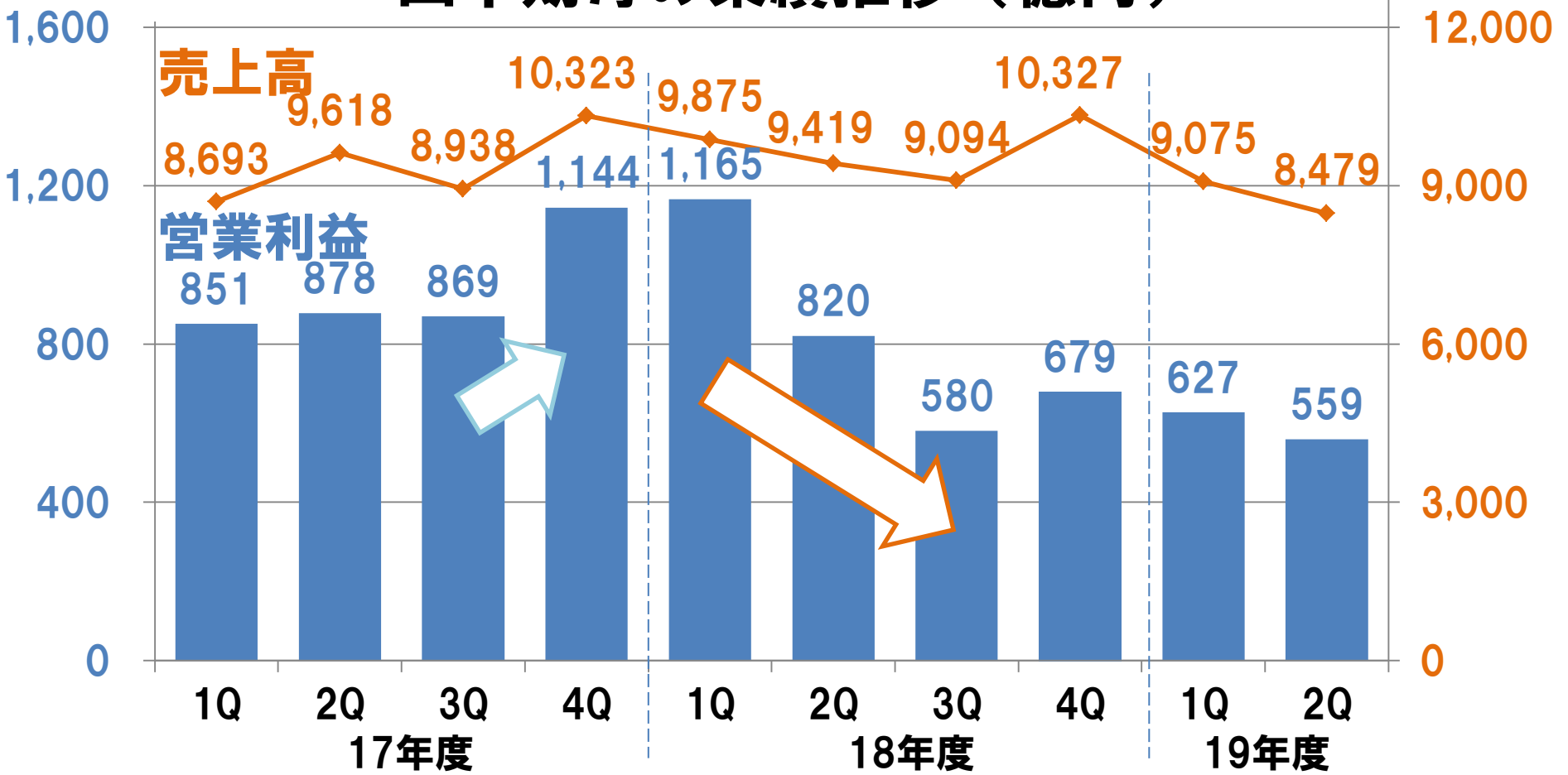
18年度2Q以降、減速

前期からのインド四輪の不振に加え、日本の減産も影響

## 四半期毎の業績推移（億円）

（営業利益）

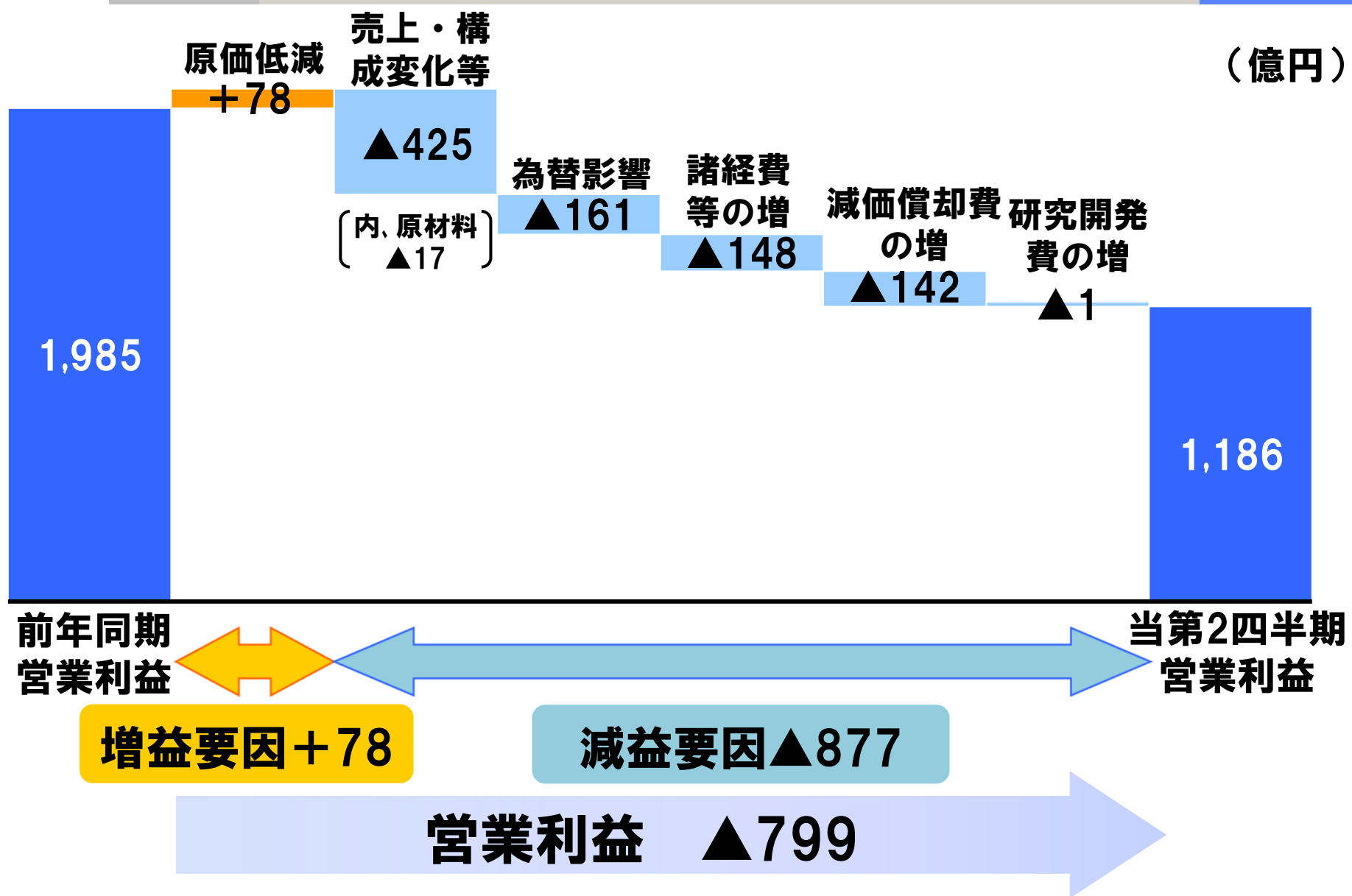
（売上高）



## アジア、特に四輪のインド売上高が大幅に減少

(億円)	四輪			二輪			マリン他			合計			内、為替 換算影響
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
国内計	5,770	5,807	▲37	116	105	+11	98	74	+24	5,984	5,986	▲2	
自 社	5,315	5,282	+33	116	105	+11	98	74	+24	5,529	5,461	+68	
OEM	455	525	▲70							455	525	▲70	
海外計	10,044	11,806	▲1,762	1,149	1,158	▲9	377	344	+33	11,570	13,308	▲1,738	▲581
欧州	2,206	2,075	+131	197	204	▲7	98	87	+11	2,501	2,366	+135	▲169
北米	5	7	▲2	141	149	▲8	194	178	+16	340	334	+6	▲6
アジア	6,803	8,548	▲1,745	649	647	+2	36	32	+4	7,488	9,227	▲1,739	▲338
インド	5,123	6,636	▲1,513	315	278	+37	3	3	▲0	5,441	6,917	▲1,476	▲209
〃以外	1,680	1,912	▲232	334	369	▲35	33	29	+4	2,047	2,310	▲263	▲129
その他	1,030	1,176	▲146	162	158	+4	49	47	+2	1,241	1,381	▲140	▲68
総合計	15,814	17,613	▲1,799	1,265	1,263	+2	475	418	+57	17,554	19,294	▲1,740	▲581
内、為替 換算影響			▲526			▲45			▲10			▲581	

注. 当期…2019年4～9月期、前期…2018年4月～9月期、北米…米国・カナダ、北米四輪車…部品用品等

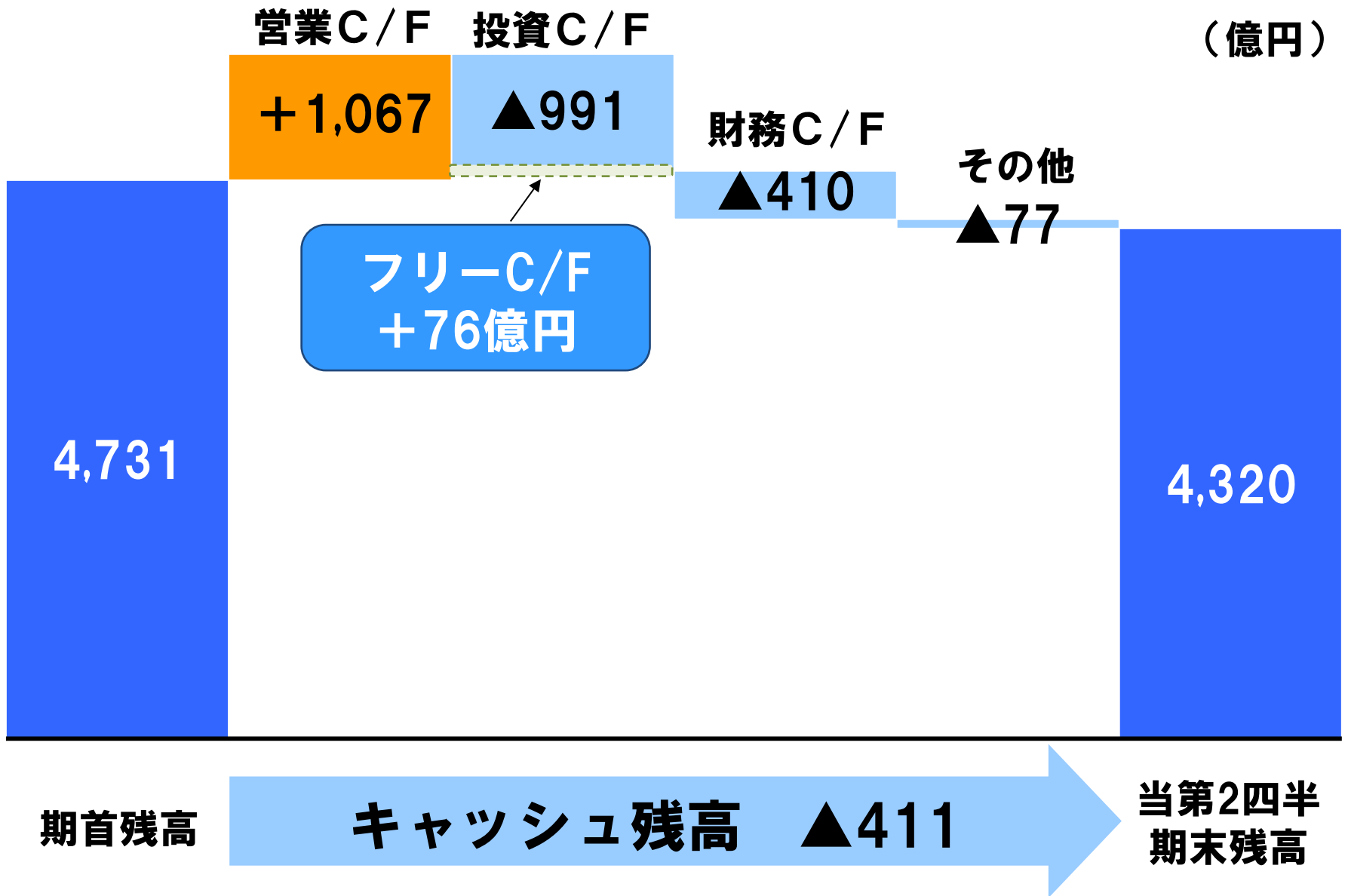


	当第2四半期 (’19/4-9)	前年同期 (’18/4-9)	増 減	営業利益 為替影響
米ドル	109円	110円	▲1円	▲6億円
ユーロ	121円	130円	▲9円	▲49億円
インドルピー	1.56円	1.62円	▲0.06円	▲27億円
インドネシアルピア (100ルピア当り)	0.77円	0.78円	▲0.01円	▲1億円
タイバーツ	3.49円	3.40円	+0.09円	▲1億円
パキスタンルピー	0.72円	0.92円	▲0.20円	▲33億円
その他	—	—	—	▲44億円 ※
計				▲161億円

※ポンド▲10億円、オーストラリアドル▲10億円 他

	当第2四半期 ('19/4-9)	前年同期 ('18/4-9)	増減
(当社単独)	263億円	257億円	+6億円
(子会社)	910億円	1,063億円	▲153億円
設備投資	1,173億円	1,320億円	▲147億円
減価償却費	784億円	642億円	+142億円
研究開発費	719億円	718億円	+1億円

	当第2四半期末 ('19/9末)	前第2四半期末		前期末	
		('18/9末)	増減	('19/3末)	増減
有利子負債残高	3,723億円	3,815億円	▲92億円	3,754億円	▲31億円
連結子会社数	129社	131社	▲2社	130社	▲1社
持分法適用 関連会社数	28社	28社	±0社	28社	±0社
従業員数	69,253人	67,854人	+1,399人	67,721人	+1,532人





# 連結：事業別業績 (売上高・営業利益)

(億円)

20,000  
16,000  
12,000  
8,000  
4,000  
0

## 《四輪》 売上高

▲1,799 (▲10.2%)

17,613

15,814



## 《二輪》 売上高

+2 (+0.2%)

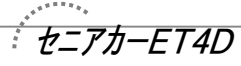


1,263

1,265

## 《マリン他》 売上高

+57 (+13.6%)



418

475

## 営業利益

▲794 (▲42.8%)

1,855

1,061

## 営業利益

▲23 (▲56.8%)

40

17

## 営業利益

+18 (+20.2%)

90

108

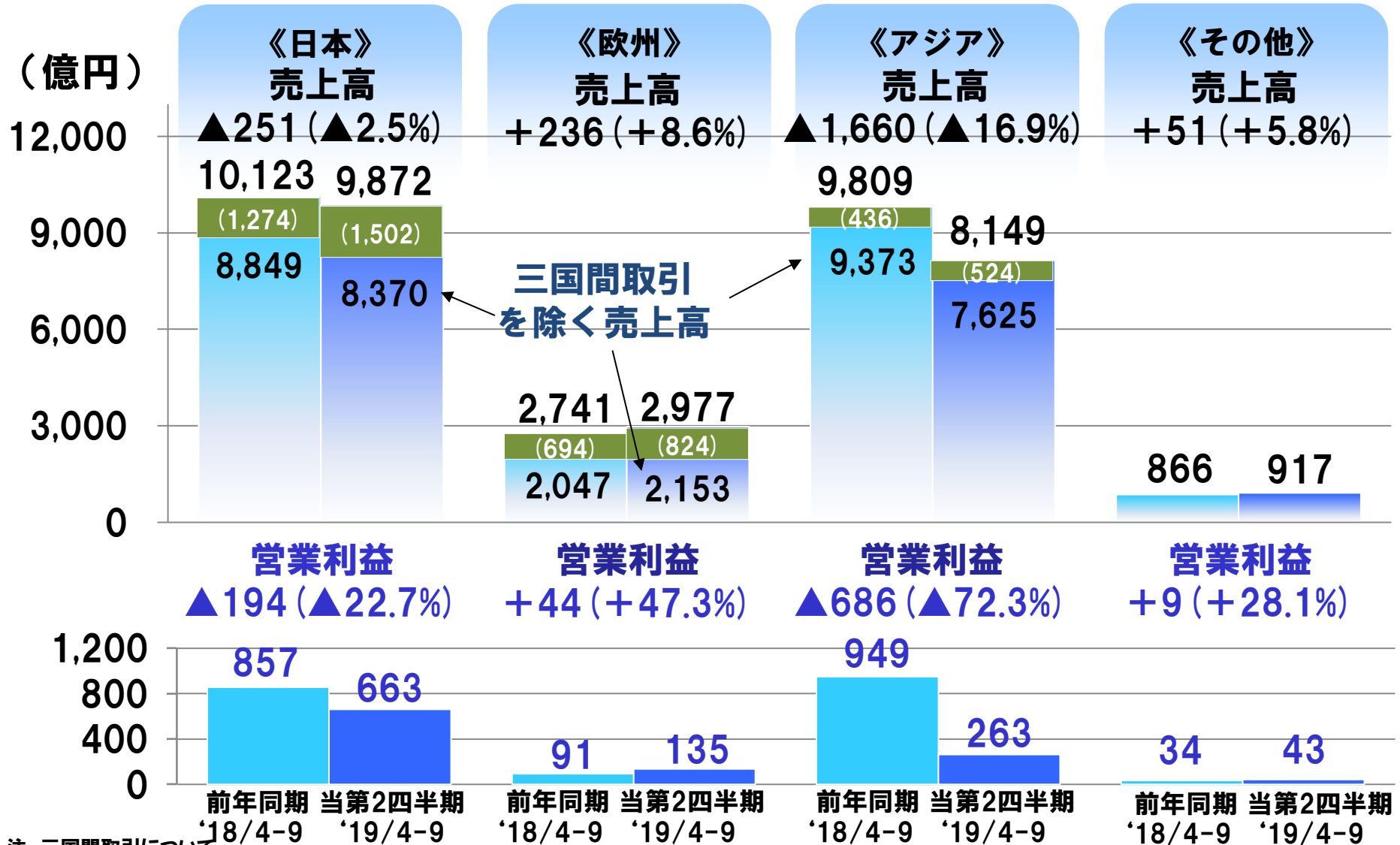
前年同期 '18/4-9  
当第2四半期 '19/4-9

前年同期 '18/4-9  
当第2四半期 '19/4-9

前年同期 '18/4-9  
当第2四半期 '19/4-9



# 連結：所在地別業績 (売上高・営業利益)



注. 三国間取引について  
従来、ハンガリー生産車の欧州域内への子会社向け売上高は、域内子会社間取引として消去されていましたが、取引形態を日本経由の三国間取引に変更したため、日本向け売上高及び日本から欧州への売上高が消去されず、日本・欧州ともに売上高がその分、多く表示されています。アジアについても同様な取引があります。

		ルピー建 (億ルピー) ※1				円換算額 (億円)			
		当第2四半期 ( '19/4-9)	前第2四半期 ( '18/4-9)	増減	増減率	当第2四半期 ( '19/4-9)	前第2四半期 ( '18/4-9)	増減	増減率
連結業績	売上高	3,486	4,337	▲851	▲19.6%	5,438	7,026	▲1,588	▲22.6%
	営業利益※2 (利益率)	181 (5.2%)	534 (12.3%)	▲353	▲66.0%	283 (5.2%)	865 (12.3%)	▲582	▲67.3%
	税前利益 (利益率)	346 (9.9%)	617 (14.2%)	▲271	▲44.0%	539 (9.9%)	1,000 (14.2%)	▲461	▲46.1%
	当期純利益 (利益率)	277 (7.9%)	430 (9.9%)	▲153	▲35.6%	432 (7.9%)	696 (9.9%)	▲264	▲37.9%
	為替レート	1.56円	1.62円	▲0.06円	▲3.7%				
	卸販売	国内販売※3	687千台	919千台	▲232千台	▲25.3%			
輸出		54千台	56千台	▲2千台	▲3.9%				
合計		741千台	975千台	▲234千台	▲24.0%				

※1. ルピー建は、10月24日付でマルチ・スズキ・インディア社が発表した連結業績値

※2. 営業利益は次式により算出  
 Sales of product  
 + Other operating revenues  
 - Total Expenses  
 + Finance costs

※3. 国内販売はOEMを含む

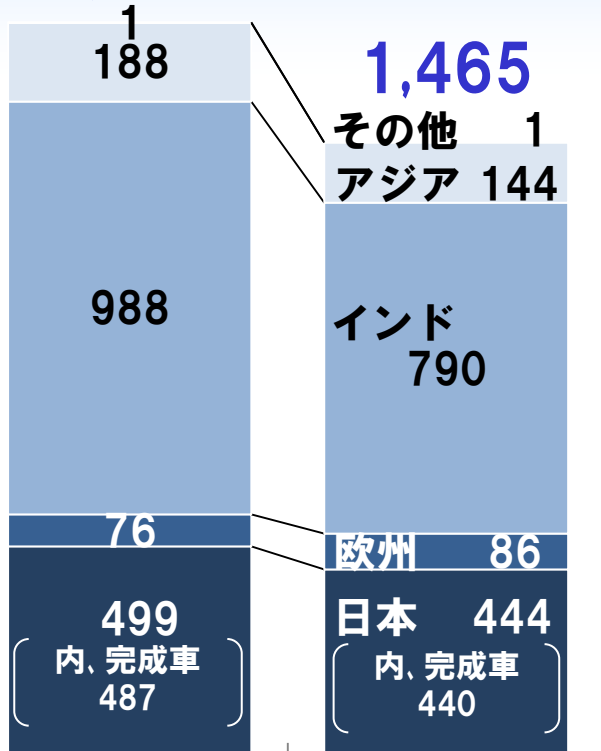
注. マルチ・スズキ・インディア社はIndAS(インド版IFRS)に基づき会計処理をしていますので、本数値はあくまでも参考値となります。

## 日本、インドの減により前年割れ

《4~9月比較》

▲287千台 (▲16.4%)

1,752



前年同期  
'18/4-9

当第2四半期  
'19/4-9

### ●当期 (4~9月) の世界生産

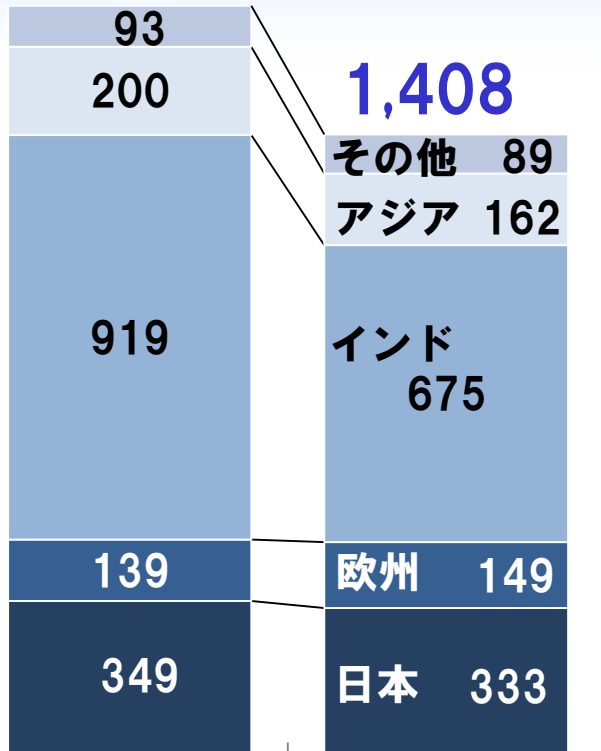
- 世界生産 1,465千台 (前年同期比▲16.4%)
- インド 790千台 (同▲20.0%)
- 日本 444千台 (同▲11.0%)
- 欧州 86千台 (同+12.9%)
- インドを除くアジアは 144千台 (同▲23.4%)
- (内訳)
  - パキスタン 51千台 (同▲24.3%)
  - インドネシア 62千台 (同▲2.6%)
  - タイ 17千台 (同▲42.6%)
  - 中国 8千台 (同▲64.3%)
  - ミャンマー 6千台 (同+25.6%)

## 日本、インドの減により前年割れ

《4～9月比較》

▲292千台 (▲17.2%)

1,700



前年同期  
'18/4-9

当第2四半期  
'19/4-9

### ●当期（4～9月）の世界販売

- ・世界販売 1,408千台 (前年同期比▲17.2%)
- ・日本 333千台 (同▲ 4.6%)
- ・欧州 149千台 (同+ 7.3%)
- ・インド 675千台 (同▲26.5%)
- ・インドを除くアジアは  
162千台 (同▲19.1%)

(内訳)

- パキスタン 54千台 (同▲19.2%)
- インドネシア 51千台 (同▲12.4%)
- タイ 13千台 (同▲11.8%)
- フィリピン 13千台 (同+29.8%)
- 中国 10千台 (同▲65.3%)
- その他 21千台 (同▲ 2.5%)

## 検査体制再構築による減産の影響により前年割れ

《4～9月比較》

▲16千台（▲4.6%）

349

333

65

登録車  
60

284

軽自動車  
273

前年同期  
'18/4-9

当第2四半期  
'19/4-9

### ●当期（4～9月）の日本販売

- ・軽自動車（前年同期比▲4.0%）
- 登録車（ ” ▲7.4%）

### ●トピックス

- ・「キャリイ」に軽トラック初※の夜間歩行者検知に対応した衝突被害軽減ブレーキ搭載車を設定して9月から発売



※ 軽自動車トラッククラス。2019年9月現在、スズキ調べ。

## 10月18日、国土交通省に第1回目報告を実施

- ・ 6月7日付の国土交通省からの勧告を受け、総点検を実施
- ・ 再発防止策を見直し、10月18日、国土交通省に進捗状況を報告

### (第一段階)

- ・ 2020年3月までに現在の検査ラインの対策を完了し、生産を正常化  
⇒お客様や販売店様をお待たせしないよう体制を整える
  - ・ 検査員の増員
  - ・ 検査項目・手順の見直しと検査員教育
  - ・ 検査データの自動記録による書換え防止
  - ・ 設備による検査結果の自動判定
  - ・ コミュニケーションの改善
- ・ 製造品質や設備管理を改善し、検査の効率化、正確性の向上を図る

### (第二段階)

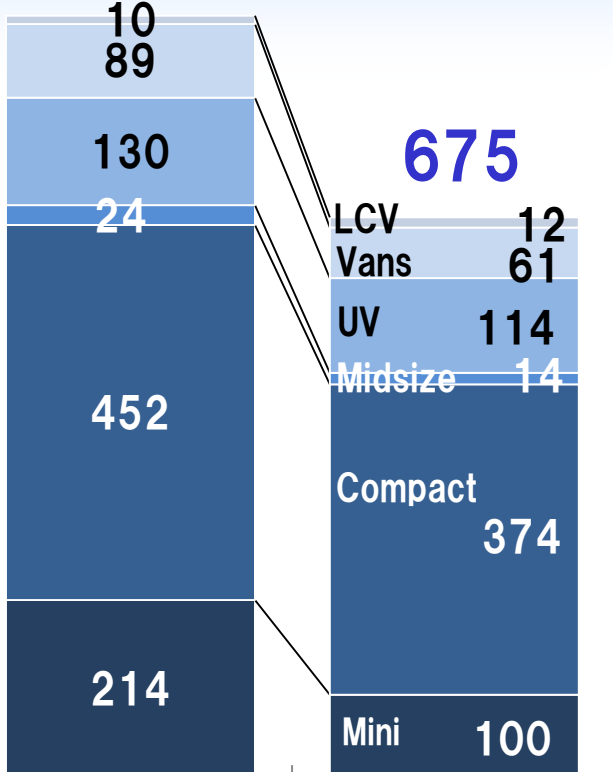
- ・ 2020年4月以降、検査ラインレイアウトの最適化、カメラとAIによる合否判定の自動化、チェックシートの電子化等を進め、確実な完成検査の安定的かつ継続的な実行を可能とする

## 全体市場低迷により大幅減

《4～9月比較》

▲244千台（▲26.5%）

919



### ●当期のインド販売

- ・4～9月累計は、全体市場低迷により大幅減

### ●トピックス

- ・8月、Premium MPV「XL6」新発売
- ・9月、Mini SUV「S-PRESSO」新発売
- ・4月から規制に先駆け投入したBS6対応モデルが累計販売20万台突破
- ・9月25日から一部車種において、法人税減税メリット還元（販売価格▲5千ルピー）
- ・10月卸販売実績 142千台（前年同月比+ 2.5%）  
10月末端販売実績189千台（ ” +17.6%）

前年同期  
'18/4-9

当第2四半期  
'19/4-9

注. 商用車含む卸販売実績、OEMを除く

※LCV=Light Commercial Vehicles UV =Utilities Vehicles



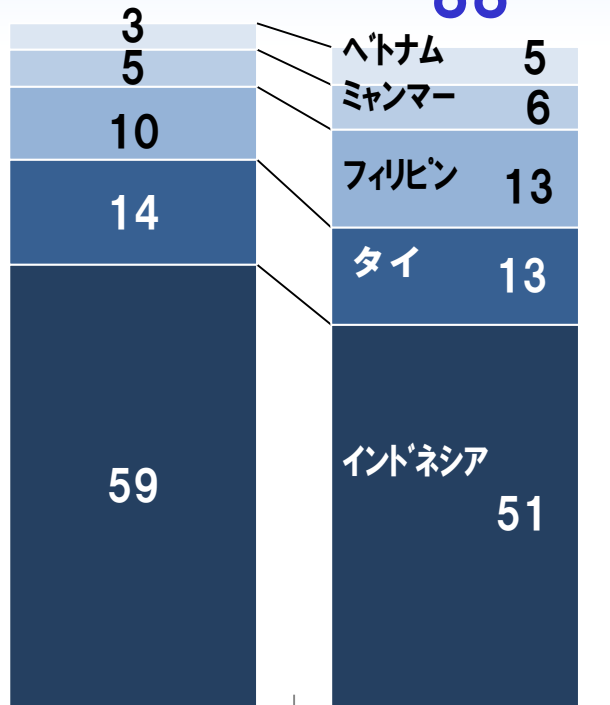
## インドネシア、タイの販売減により減少

《 4～9月比較 》

▲3千台（▲3.3%）

91

88



前年同期  
'18/4-9

当第2四半期  
'19/4-9

### ●当期（4～9月）アセアン販売

- ・アセアン5カ国※合計で88千台（前年同期比▲3.3%）
- ・インドネシアは全体市場の縮小により、前年同期比▲12.4%
- ・タイは「ERTIGA」が好調なもの、「CIAZ」の減少により、前年同期比▲11.8%
- ・フィリピンは全体市場が、前年並みの中、好調に推移し、前年同期比+29.8%
- ・ミャンマーが大幅伸長、前年同期比+18.0%



ERTIGA

※アセアン：インドネシア、タイ、フィリピン、ミャンマー、ベトナム 5ヶ国合計

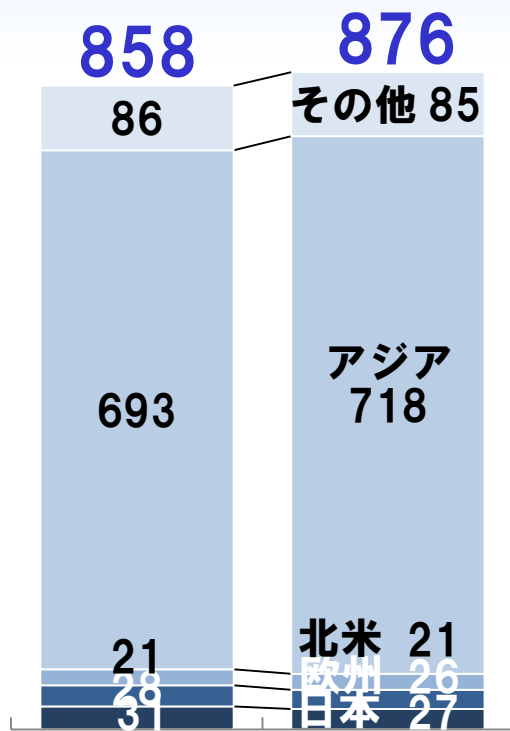
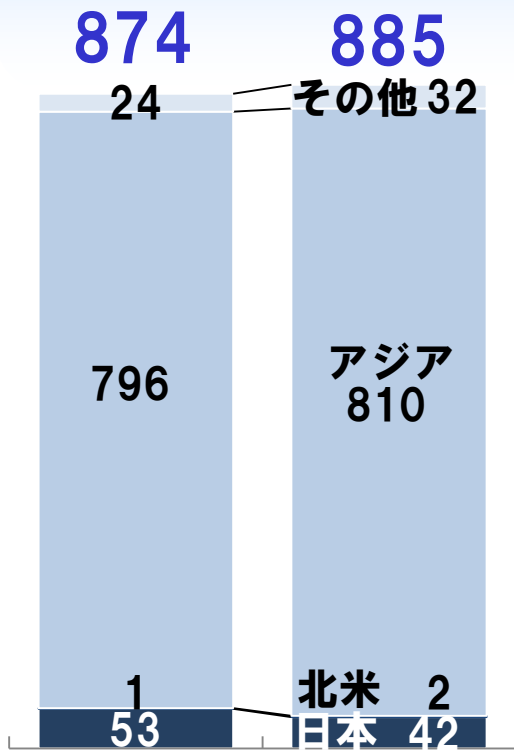
## 生産・販売ともに増加

≪ 4~9月生産 ≫  
+11千台 (+1.2%)

≪ 4~9月販売 ≫  
+18千台 (+2.1%)  
(千台)

### ● 当期（4~9月）の二輪車

- 二輪車の世界生産は885千台で前年同期比+1.2%
- 二輪車の世界販売は876千台で前年同期比+2.1%

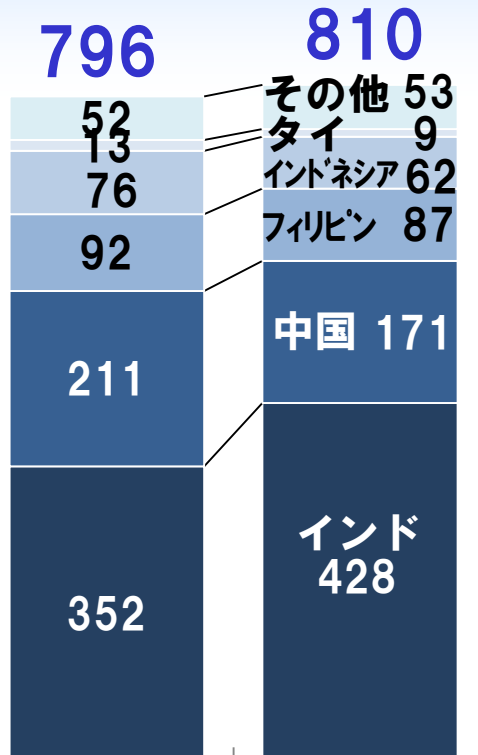


前年同期 '18/4-9    当第2四半期 '19/4-9

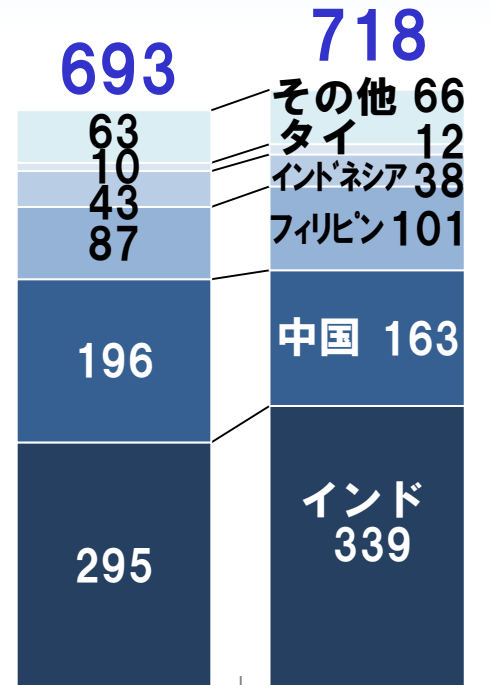
前年同期 '18/4-9    当第2四半期 '19/4-9

## アジアの販売はインド、フィリピン等で増加

《 4~9月生産 》  
+14千台 (+1.8%)



《 4~9月販売 》  
+25千台 (+3.6%)  
(千台)



### ●当期（4~9月）アジア販売

- ・アジアの販売は、インド、フィリピン等で増加し、718千台（前年同期比+3.6%）
- ・インドは全体市場が低迷する中、「ACCESS」の好調が続く（同+14.9%）

### ●トピックス

- ・5月、新開発の油冷エンジンを採用した「GIXXER SF 250」をインドで新発売
- ・8月にはネイキッドモデルの「GIXXER 250」を投入し、インドでのラインナップを拡充



前年同期 '18/4-9      当第2四半期 '19/4-9

前年同期 '18/4-9      当第2四半期 '19/4-9

## 通期業績予想

… 10月10日に期初予想を下方修正

	通期予想 (’19/4-’20/3)	前期実績比較 (’18/4-’19/3)		期初予想比較 (’19/4-’20/3)				
		増減	増減率	増減	増減率	増減率		
連結業績 (億円)	売上高	35,000	38,715	▲3,715	▲9.6%	39,000	▲4,000	▲10.3%
	営業利益 (利益率)	2,000 (5.7%)	3,244 (8.4%)	▲1,244	▲38.3%	3,300 (8.5%)	▲1,300	▲39.4%
	経常利益 (利益率)	2,200 (6.3%)	3,795 (9.8%)	▲1,595	▲42.0%	3,400 (8.7%)	▲1,200	▲35.3%
	当期純利益* (利益率)	1,400 (4.0%)	1,788 (4.6%)	▲388	▲21.7%	2,000 (5.1%)	▲600	▲30.0%

- ・売上高減少 … 日本での減産、インドでの四輪販売減により前期比・期初比とも減少
- ・営業利益減益 … 売上高減少に加え、為替変動等もあり減益
- ・経常利益減益 … 前期比はインドでの受取利息減少などもあり減益幅拡大
- ・当期純利益減益\* … 前期比は前年の特別損失813億円計上により減益幅縮小

世界販売 (千台)	通期予想		前期実績比較		期初予想比較		
	(’19/4-’20/3)	(’18/4-’19/3)	増減	増減率	(’19/4-’20/3)	増減	増減率
四輪車	2,849	3,327	▲478	▲14.4%	3,340	▲491	▲14.7%
二輪車	1,771	1,745	+26	+1.5%	1,825	▲54	▲3.0%

※当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

# 通期業績予想

## (増減要因・為替レート等)

(億円)	今回 通期予想	前期比較		期初予想比較	
		前期実績	増減	期初予想	増減
営業利益 増減要因	原価低減	+250	+282		+310 ▲60
	諸経費等の増	±0	▲684		±0 ±0
	売上・構成変化等	▲864	+402		+126 ▲990
	為替影響	▲400	▲331		▲150 ▲250
	研究開発費の増	▲120	▲187		▲120 ±0
	減価償却費の増減	▲110	+20		▲110 ±0
計	▲1,244	▲498		+56 ▲1,300	
設備投資	2,700	2,689	+11	2,700	±0
減価償却費	1,600	1,489	+111	1,600	±0
研究開発費	1,700	1,581	+119	1,700	±0

	今回予想			営業利益 為替影響	前期比較		期初予想比較	
	上期実績	下期予想	通期予想		通期実績	増減	通期予想	増減
米ドル	109円	105円	107円	▲32億円	111円	▲4円	110円	▲3円
ユーロ	121円	115円	118円	▲136億円	128円	▲10円	125円	▲7円
インドルピー	1.56円	1.50円	1.53円	▲62億円	1.60円	▲0.07円	1.58円	▲0.05円
インドネシア※	0.77円	0.75円	0.76円	▲6億円	0.78円	▲0.02円	0.77円	▲0.01円
タイバーツ	3.49円	3.50円	3.50円	+0億円	3.43円	+0.07円	3.40円	+0.10円
パキスタンルピー	0.72円	0.67円	0.70円	▲62億円	0.87円	▲0.17円	0.78円	▲0.08円
その他通貨				▲102億円				
為替影響額 計				▲400億円				

※インドネシアは100ルピア当りのレート

# 通期業績予想 (生産台数・販売台数)

## 四輪は、日本、インド等を下方修正

(千台)	通期生産台数					通期販売台数				
	予想 (19年度)	前期実績 (18年度)	前期実績		前回予想 からの 修正	予想 (19年度)	前期実績 (18年度)	前期実績		前回予想 からの 修正
			増減	増減率				増減	増減率	
<b>&lt;四輪車&gt;</b>										
日本	956	1,011	▲55	▲5.4%	▲53	689	725	▲36	▲5.0%	▲31
欧州	166	180	▲14	▲7.8%	▲8	256	278	▲22	▲8.0%	±0
アジア	1,823	2,201	▲378	▲17.2%	▲449	1,738	2,138	▲400	▲18.7%	▲444
その他	2	2	▲0	▲7.4%	±0	166	186	▲20	▲10.8%	▲16
合計	2,947	3,394	▲447	▲13.2%	▲510	2,849	3,327	▲478	▲14.4%	▲491
<b>インド四輪の販売見通しは前年比+4%から▲20%へ修正</b>										
<b>&lt;二輪車&gt;</b>										
日本	101	115	▲14	▲12.1%	▲10	52	57	▲5	▲8.0%	▲8
欧州	—	—	—	—	—	45	44	+1	+1.2%	▲2
北米	3	4	▲1	▲25.5%	±0	37	36	+1	+2.3%	▲2
アジア	1,629	1,576	+53	+3.4%	▲51	1,468	1,436	+32	+2.2%	▲68
その他	61	52	+9	+16.6%	+9	169	171	▲2	▲1.3%	+26
合計	1,794	1,747	+47	+2.7%	▲52	1,771	1,745	+26	+1.5%	▲54

# 2019年3月期 第2四半期決算説明会

つくろう、あなたのワクワクで、みんなのワクワクを。

WAKUWAKU SWITCH for EVERYONE



GIXXER SF



GIXXER



KUPU



GET MITRA



HANARE



WAKU SPO



HUSTLER  
CONCEPT



HUSTLER  
CONCEPT

第46回東京モーターショー2019出品車

# スズキ株式会社

## 将来予想に関する注意事項

※このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

※実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。

※実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に米ドル／円相場、ユーロ／円相場、インドルピー／円相場)などが含まれます。